

片桐・荻野研究室 学生研究業績一覧

2016 (H28年度)

論文タイトル

学会発表

M2	野村拓矢	修論	キャッシュ最適化を指向したメニーコア環境における分散遺伝的アルゴリズムの提案	
M2	梶井晃基	修論	電磁場解析における高精度計算を用いた反復法に関する研究	「倍々精度演算を用いた電磁界シミュレーションにおけるCOCG法の収束性改善」 荻野正雄 梶井晃基 日本機械学会 第28回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム 2016.5
M2	梶井晃基	他	「部分領域反復解法に擬似4倍精度を用いたfull-wave電磁界解析」 武居周, 水間健仁, 杉本振一郎, 梶井晃基, 荻野正雄 電子情報通信学会論文誌C	「大規模電磁場解析における反復法への高精度計算の適用」 梶井晃基 荻野正雄 第29回計算力学講演会 2016.9
M1	池田朋哉			「アジョイント法におけるForward modelへの階層ブロッキング適用による高性能化」 池田 朋哉, 伊藤 伸一, 長尾 大進, 片桐 孝洋, 永井 亨, 荻野 正雄 第157回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会, 2016.12
M1	池田朋哉			「Optimizing Forward Computation in Adjoint Method via Multi-level Blocking.」 Tomoya Ikeda, Shin-Ichi Ito, Hiromichi Nagao, Takahiro Katagiri, Toru Nagai and Masao Ogino IHPCES 2017 at ICCS 2017.
M1	市村駿太郎			
M1	岩間拓也	卒論	沿岸構造物の津波減災に向けたSPH-FEM連成解析システムの機能拡張に関する研究	「粒子法コードと汎用有限要素法コードによる片方向FSI解析に関する検討」 岩間拓也、荻野正雄、浅井光輝 日本機械学会 第29回計算力学講演会・2016.9
B4	木村海斗	卒論	ノン・ブロッキング通信を用いたプラズマ乱流解析コードの性能評価	
B4	関谷和明	卒論	高精度計算ライブラリを利用した多倍長精度基本線形代数演算の性能評価	「高精度計算ライブラリを利用した多倍長精度基本線形代数演算の性能評価」 関谷和明、荻野正雄、片桐孝洋、永井亨 情報処理学会 第79回全国大会 2017.3
B4	藤川隼人	卒論	データ同化処理における時空間ブロッキングの異機種性能評価	「データ同化処理における時空間ブロッキングの異機種性能評価」 藤川隼人 池田朋哉 片桐孝洋 永井亨 荻野正雄 情報処理学会 第79回全国大会 2017.3
B4	山田賢也	卒論	ディープラーニングを用いた数値計算ライブラリの最適実装選択の検討	「ディープラーニングを用いた数値計算ライブラリの最適実装選択の検討」 山田賢也 片桐孝洋 永井亨 荻野正雄 情報処理学会 第79回全国大会 2017.3